

平成20事業年度

決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(様式2)

平成20年度 決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	11,255	11,522	267	(注1)
施設整備費補助金	889	937	48	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	—	398	398	(注3)
国立大学財務・経営センタ 一施設費交付金	54	54	—	
自己収入	15,562	16,625	1,063	
授業料、入学料及び検 料収入	4,210	3,970	△240	(注4)
附属病院収入	11,222	12,480	1,258	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	130	175	45	(注6)
産学連携等研究収入及び寄 附金収入等	1,062	1,436	374	(注7)
引当金取崩	40	30	△10	(注8)
長期借入金	842	842	—	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	52	52	(注9)
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	857	343	△514	(注10)
計	30,561	32,239	1,678	
支出				
業務費	24,354	23,722	△632	(注11)
教育研究経費	12,231	11,121	△1,110	
診療経費	12,123	12,601	478	
一般管理費	2,472	2,530	59	(注12)
施設整備費	1,786	1,834	48	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	398	398	(注14)
産学連携等研究経費及び寄 附金事業費等	1,062	1,189	127	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	887	885	△3	(注16)
国立大学財務・経営センタ 一施設費納付金	—	—	—	
計	30,561	30,558	△3	
収入－支出	—	1,681	1,681	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当の支給などを前年度からの繰越額により充てたことから、予算金額に比して決算金額が267百万円多額となっております。
- (注2) 予算金額については、889百万円と計上していましたが、補正予算措置により決算金額は937百万円となっております。
- (注3) 予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して398百万円決算金額が多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成21年度入学者に係る授業料の前納を廃止したこと、再チャレンジ支援経費による授業料減免額の増加及び入学志願者の増加により検定料収入が増加したこと等の理由により予算金額に比して決算金額が240百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、医療体制充実・強化などに伴う診療報酬単価の増により増収となったことから、予算金額に比して決算金額が1,258百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については、主として資金運用による利息、特許権等の実施料収入により、予算金額に比して決算金額が45百万円多額となっております。
- (注7) 予算段階では予定していなかった国等からの受託研究・事業の獲得に努めたこと、及び予算段階で予定していなかった前年度以前における寄附金収入の繰越額を当年度に支出したため予算金額に比して決算金額が374百万円多額となっております。なお、「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち、前年度よりの繰越額からの使用額は145百万円となっております。
- (注8) 任用計画の見直しにより、引当計上目的に従って当年度に使用した額が減少したため、予算金額に比して決算金額が10百万円少額となっております。
- (注9) 予算段階では予定していなかった医療訴訟に伴う賠償費用が発生したことにより、予算金額に比して決算金額が52百万円多額となっております。
- (注10) 目的積立金での執行を予定していた事業について計画の見直しを行ったため、予算金額に比して514百万円決算金額が少額となっております。
- (注11) 附属病院収入増に伴う医薬品等の購入増、医療従事者の手当見直しなどにより、予算金額に比して決算金額が多となる一方、退職手当が予定より少額であったこと、また退職者の定員不補充による人件費の削減効果が予算金額に比して多額であったこと及び目的積立金での執行を予定していた事業について計画の見直しを行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が632百万円少額となっております。
- (注12) 退職手当が予定より少額であった一方で、再雇用による任用計画の見直しなどで人件費が増加したこと等により予算金額に比して決算金額が59百万円多額となっております。
- (注13) (注2) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が48百万円多額となっております。
- (注14) (注3) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が398百万円多額となっております。
- (注15) (注7) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が127百万円多額となっております。
- (注16) 貸付利率の変更に伴い、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっております。